

バスのスーパーへの乗り入れによる 外出促進や待合所でのイベント開催等を通じたコミュニティの創出



Profile

会社名（法人等名）、 地方公共団体名等	熊野町
所属部署名 氏名	住民生活部生活環境課 荻野 孝雄
出身地	広島県（生まれは長崎県ですがほとんど広島です。）
所属部署での業務内容	<p>コミュニティに関すること（公共交通・コミュニティセンター及び地区集会所・自治会等）</p> <p>人権に関すること（人権教育、男女共同、町民相談事業、犯罪被害者支援、多文化共生）</p> <p>公衆衛生に関すること（公衆衛生推進協議会等）</p> <p>衛生害虫の駆除に関すること</p> <p>権限移譲に関すること</p>
現職に至るまでの経歴	建設課(地籍調査)→都市整備課(都市計画)→水道課→県庁派遣(道路予算)→政策企画課(財務・入札)→都市整備課(都市計画・地籍調査)→生活環境課(現在)
担当として関わるきっかけ	町が走らせている生活福祉交通おでかけ号と広島電鉄が運行していた阿戸線の補助金事務を担当していたため。
プロジェクトに関わった中で印象的な事例	<p>昨今の公共交通事業者の苦勞と取り組みの難しさを感じたことや、賑わいの場を創出するにあたり、地域のニーズとプランをマッチさせることへの重要性を感じています。</p> <p>例えば交通利用の活性化を目指すため、賑わいの場の創出を目指したとき、当初はイベントスペースの運営者を探しましたが、その場合には運営者の決定、人材の確保、今後の運営スケジュールの見通しなど具体的なプランと運営者に対するインセンティブが見えないと話が進まなかったのですが、対象を月1回の週末に絞ることと、イベント開催の経験がある地元の方に相談することで、住民の方々が出店したい方を募ることができ、「あとせんマルシェ」としてキッチンカーやワークショップなどを開催することができたことが印象的でした。</p>